

特 集

T4 の癌

臓器別特性と治療戦略

TNM 分類における T4 癌は各臓器において、一部に炎症性乳癌なども含まれるが、そのほとんどは「隣接臓器にまで浸潤している癌」とされている。隣接臓器といっても、各々の臓器の解剖学的位置関係から対象臓器、対象組織は様々であり、また同じ癌でもその局在によって異なる場合も少なくない。そのため癌の発生した臓器により、その症状、診断法、治療方針、そして手術手技も異なる。そのような各臓器の T4 癌を臓器横断的に一つの特集という場で検討してみたい。

隣接臓器に浸潤したような TNM 分類における T4 癌の治療にあたっては、①術前診断の方法の選択や精度の向上、そして②術前、術中、術後の合併療法も含めた治療戦略、さらに③手術適応判断と高度な手術手技が求められており、外科医の能力が最も問われる分野である。本特集が、読者に有益かつ意義深い特集となれば幸いである。